

対象プロジェクト名	遠隔教育プロジェクト
個別プロジェクト名	WEB会議を用いたプロジェクト 進行管理
資料名	遠隔教育プロジェクトWEBを用 いたプロジェクト進行管理
年度	2009年度
年月日	

遠隔教育プロジェクト WEB会議を用いたプロジェクト進行管理

【概要】

地域再生支援プロジェクト等で教員と院生が参加した事業が、具体的・現実的な政策・事業として展開され始めている。それら全国各地で推進されているプロジェクトの進行を効率的・効果的に管理・支援していくために、「Web会議を用いたプロジェクト進行管理」をスタートさせた。

平成20年度は多数地点での相互接続等の検証を行い、その結果を踏まえた改善を行った上で、平成21年度には兵庫県加西市の公民連携について、プロジェクト・マネジメントに取り組んだ。

【実施状況】

平成20年度に地域再生支援プロジェクトで、「加西市PPP導入可能性調査」を実施した兵庫県加西市において、平成21年4月から公民連携推進を担う担当職員が配置され、本格的な公民連携による地域再生にむけた取り組みがスタートした。

大学は調査研究に関わった教員・院生等を中心として、加西市のプロジェクトに関するフォローアップを行った。

WEB会議は、大学は大手町サテライト、加西市は担当職員の居所を遠隔システムで接続することによって実施した。それぞれの打ち合わせ前に、事前にファイル共有等により、検討事項を整理して交換・整理することによって、効率的な会議運営を行った。

WEB会議を用いることによる効率性については、大きくは以下の3点があった。

- ① 双方の情報・データを共有しながら打ち合わせを行うことで、インタラクティブなコミュニケーションができたこと
- ② 直接画面を通じて表情や言葉による伝達により、適切・正確な意思疎通と意見交換を行うことができ、プロジェクトの進行管理の質が高まったこと
- ③ 兵庫県・加西市と東京都・千代田区との遠隔地の移動時間・交通費等を大幅に削減できたこと

【実績】

加西市における公民連携プロジェクトの進行について、行政の状況を適切に把握・情報共有することによって、同市の公民連携の促進につながった。具体的には、担当職員の公民連携に関する計画・方針・進め方等について、大学から必要なアドバイス・助言を行うとともに、11月には現地における公民連携に関する普及啓発活動（議員・職員・市民等による勉強会）の企画に貢献した。

WEB会議を用いた打ち合わせの実績は以下の通りである。

平成21年9月	加西市の公民連携政策・事業に関する進捗状況の把握と課題の検討 (根本教授・田淵教授・加西市 中村主幹・院生 藏田)
11月	加西市で実施する公民連携の勉強会(議会・職員・市民等)の企画の検討 (根本教授・加西市 中村主幹・院生 藏田)
平成22年1月	加西市の公民連携の取り組み促進に向けた手法・事例等の検討 (根本教授・加西市 中村主幹・院生 藏田)

